

川崎市上下水道局入江崎総合スラッジセンター
汚泥処理施設更新工事

優先交渉権者選定基準

令和 2年 12月

川崎市 上下水道局 下水道部

川崎市上下水道局入江崎総合スラッジセンター汚泥処理施設更新工事
優先交渉権者選定基準

本書は、川崎市（以下「市」という。）が実施する川崎市上下水道局入江崎総合スラッジセンター汚泥処理施設更新工事（以下「本事業」という。）について、公募型プロポーザル方式により行う優先交渉権者の特定にあたって実施する評価の方法と基準を定めたものであり、本事業に係る応募者に交付する募集要項等と一体となるものである。

なお、本基準で使用する用語の定義は、募集要項において使用される用語の定義と同じものとする。

1 優先交渉権者決定の手順

優先交渉権者決定の手順は以下のとおりとする。

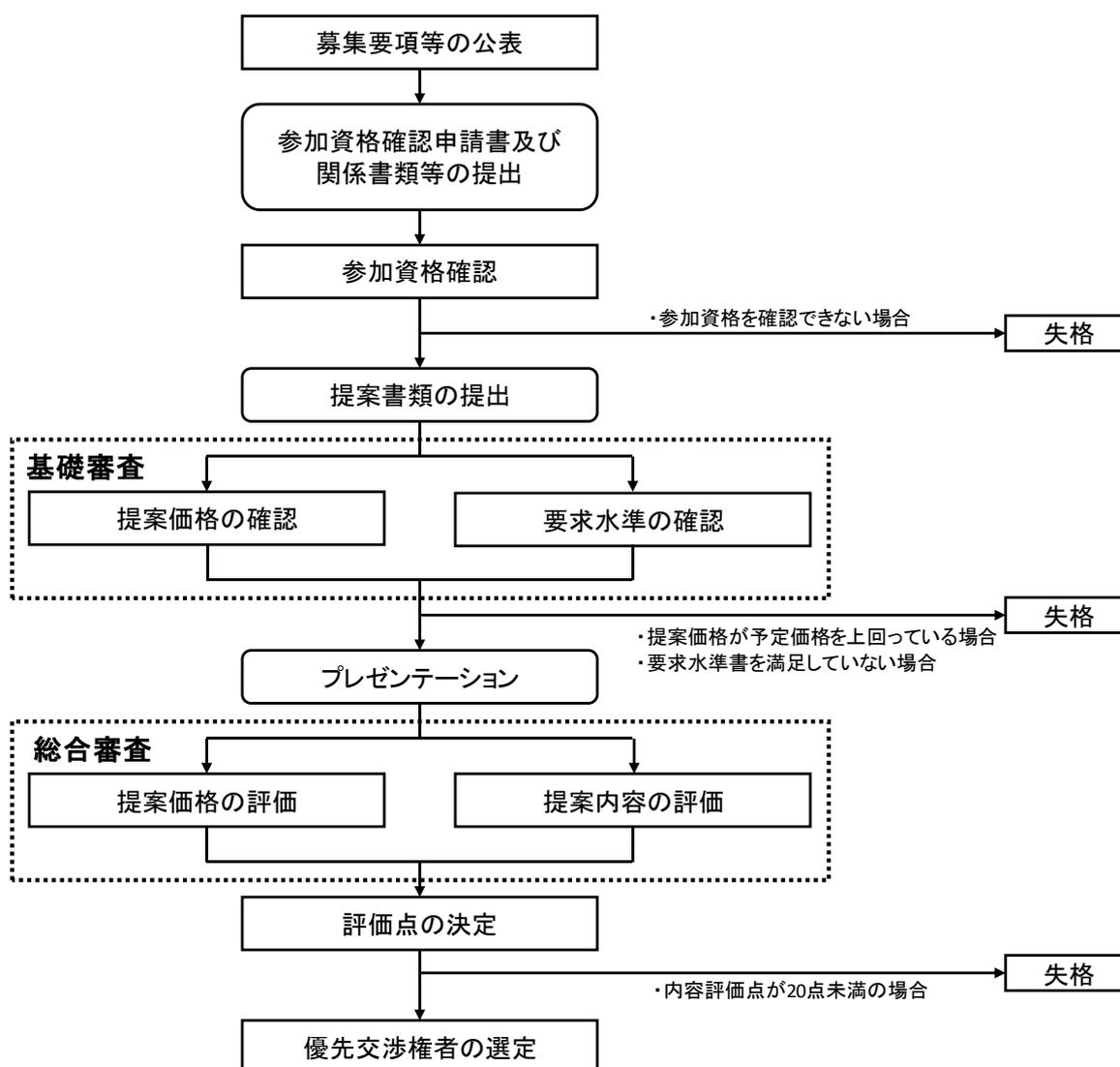


図1 優先交渉権者決定フロー

2 資格審査

応募者からの参加資格確認申請書等をもとに、参加要件及び資格等要件の具備を市において確認する。募集要項の「3.4 応募者の資格要件」に示す要件を満たしていない応募者は失格とする。資格審査の結果は市より書面にて応募者に通知する。

3 提案審査

(1) 基礎審査

市は、事業提案書に記載された内容が、下表に示す「基礎的事項」の内容を満たしていることを確認する。基礎的事項について、全てが適格と確認された応募者は、総合審査の対象とし、1項目でも満たさないことが確認された応募者は失格とする。

表1 基礎的事項

ア	提案書全体について、提案事項間において齟齬や矛盾等がないこと
イ	提案書全体について、様式に従った内容となっていること
ウ	提案価格が予定価格を下回っていること
エ	提案内容が要求水準書を満たしていること

(2) 総合審査

総合審査は、提案内容と価格を総合的に審査する方式により行う。

ア 内容評価点

本評価では、審査会において、各提案内容を別紙に示す各評価項目により評価、採点する。なお、内容評価点の合計点は80点とする。

(ア) 内容評価点の採点基準

各評価項目の内容に応じ、以下に示す評価方法によって、内容評価点を付与する。

a 定性評価

下表に示す段階評価で内容評価点を付与する。

表2 定性評価の評価段階

評価	評価内容	採点基準
A	非常に優れている	配点×1.00
B	AとCの間	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの間	配点×0.25
E	要求水準と同等である	配点×0.00

b 定量評価

各応募者の提案数値をもとに、別紙に示す評価方法によって内容評価点を付与する。

イ 価格に関する事項

価格に関する事項を 20 点満点とし、以下の式により価格に関する事項の評価点を付与する。

(価格に関する事項の評価点)

$$= 20 \text{ 点} \times \text{最も低い提案価格} / \text{当該応募者の提案価格}$$

ウ プレゼンテーション

「川崎市上下水道局入江崎総合スラッジセンター汚泥処理施設更新工事プロポーザル評価委員会」(以下「評価委員会」という)は、提案内容について、各応募者からのプレゼンテーションを受ける。

なお、このプレゼンテーションは、提案内容の補足説明を行うこと及び提案書の不明な点について評価委員が確認することを目的とするものであり、評価委員からの質疑に対する回答内容は提案内容の一部とみなす。

プレゼンテーションの具体的な日時、場所等の詳細については、事前に代表企業に通知する。

4 合計評価点の算定と優先交渉権者の特定

市は、合計評価点を算定し、合計評価点が最も高い応募者を優先交渉権者として特定する。合計評価点と同点の応募者が 2 者以上あるときは、価格に関する事項の点が高い者を優先交渉権者とするが、さらにこれも同点の場合は、くじ引きにより特定する。市は、優先交渉権者と基本協定を締結する。なお、くじ引きによる場合の方法は対象となる応募者に別途通知する。

応募者数に関わらず、内容評価点が 20 点未満の場合は失格とする。

合計評価点は以下の式により算定を行う。

合計評価点 (100 点満点)

$$= \text{内容評価点 (80 点満点)} + \text{価格に関する事項の評価点 (20 点満点)}$$

別紙 評価点の評価項目及び配点

種別	No	評価項目	審査の視点	小項目	評価種別	評価内容	配点 (個別)	配点 (項目計)
内容評価点	1	施工計画	現地条件を踏まえた施工計画	詳細な施工計画	定性	現地条件を踏まえた上で施工計画、仮設計画、安全対策等について取り組みを評価する。	6.00	14.00
	2		既設との切替方法	既設の運転への影響	定性	既設・新設1系汚泥処理施設の施設の接続や運転切替方法等について評価する。	3.00	
	3		安全管理	安全管理に関する創意工夫	定性	工事期間中における安全管理に関する取り組みを評価する。	3.00	
	4		その他自由提案		定性	本事業範囲に関わる施工時におけるその他提案について評価する。	2.00	
	5	施設の性能・機能	機能・信頼性	設備の機能・信頼性	定性	機械・電気設備の信頼性や操作性を確保するため、設備構成、停電等の復旧、及び投入汚泥量や性状に対する対策等に関する提案を評価する。	6.00	35.00
	6			耐久性	定性	施設や設備の施工、製造、設置時における耐久性を考慮した提案について評価する。	3.00	
	7			ランニングコスト縮減	定量	既設1系汚泥処理施設に対するランニングコストの縮減効果を評価する。	6.00	
	8			災害に強いシステム構築	定性	災害に強い設備システム及び耐震・耐水化等に関する対策を評価する。	3.00	
	9		維持管理性	施設配置	定性	施設配置、維持管理動線、汚泥等の搬出、設備の改築、設備・配管やケーブル配置に関するレイアウト、見学ルート等に関する提案を評価する。	6.00	
	10			設備の維持管理性	定性	設備や機器を安全かつ簡便にメンテナンスする創意工夫等、維持管理性を考慮した提案を評価する。	6.00	
	11			マニュアル・操作研修	定性	操作、点検・整備、停電時の対応等について、マニュアル及び職員への研修方法を評価する。	3.00	
	12			その他自由提案		定性	施設の性能・機能に関するその他提案を評価する。	
	13	社会的要請への対応	周辺環境への配慮	温室効果ガス削減効果	定量	既設1系汚泥処理施設に対する温室効果ガス削減効果を評価する。	6.00	11.00
	14			環境対策	定性	要求水準書で定める各種規制値の達成方法とさらなる環境対策について評価する。	3.00	
	15			景観対策	定性	施工エリア周辺の地域へ配慮した施設の景観上の創意工夫及び緑化を考慮した提案を評価する。	2.00	
	16	地域貢献	地域貢献	地元経済等への貢献	定量	地元地域における材料や労務の調達率及び下水汚泥の最終処分引き取り先の地元企業の活用有無を評価する。	6.00	9.00
	17			下水道事業のPR	定性	市民見学及び下水道事業PRを考慮した提案を評価する。	3.00	
	18	企業の技術力	実績	同種・類似施設の実績	定量	要求水準書で求める施設規模に応じた同種・類似施設の施工実績を評価する。	6.00	9.00
	19		事業実施力	実施体制と工程	定性	実施体制と事業全体の工程より事業実施力を評価する。	3.00	
	20	その他	その他	特筆すべき工夫・取組	定性	事業全体を通じて特筆したい創意工夫や取組について評価する。	2.00	2.00
小計							80.00	80.00
価格に関する評価点					定量	20点×最も低い提案価格/当該応募者の提案価格	20.00	20.00
合計							100.00	100.00